

参加者募集

問合せ先：技術交流グループ 石神・山内 Tel. 03-3262-8214 Fax. 03-3261-2204

No. 12-09 シンポジウム(Professional Course) 【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2009/scdl.php> E-mail: [sympo@jsae.or.jp](mailto:sympo@jsae.or.jp)

予防安全評価シミュレーション技術の最前線  
—Professional Course—

日時：2010年1月12日(火) 9:40~17:05  
会場：東京工業大学 大岡山キャンパス  
西2号館 W 242 教室(東京都目黒区大岡山 2-12-1)  
主催：(社)自動車技術会  
企画：アクティブセイフティ部門委員会  
協賛：(社)計測自動制御学会・(社)日本機械学会・日本シミュレーション学会・(社)日本人間工学会  
定員：100名  
参加費(消費税込・テキスト1冊込)：  
正会員 10,500円 学生会員 3,150円  
賛助会員 22,050円 一般 31,500円  
協賛学協会の会員 22,050円  
2009年度に開催しますシンポジウムの正会員参加登録費を15,750円から10,500円に値下げしました。

申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。

- ① インターネットからの申込み：  
「イベントカレンダー」【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>  
「シンポジウムページ」【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2009/scdl.php>
- ② インターネットをご利用できない方：  
シンポジウム名・参加者名・連絡先住所・電話番号・会員番号(該当者のみ)を明記の上、E-mail, Fax または郵送にて下記宛お送り下さい。

申込先：102-0076 千代田区五番町 10-2  
(社)自動車技術会 技術交流グループ  
E-mail: [sympo@jsae.or.jp](mailto:sympo@jsae.or.jp) Fax. 03-3261-2204

申込締切日：2010年1月5日(火)  
申込締切日以降も空席がある場合は受け付けます。  
申込キャンセルについて：  
申込締切日まで：キャンセル料は発生しません。ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。  
申込締切日翌日以降：ご出欠に係らず参加費全額をお支払いいただきます。開催終了後、テキストを送付いたします。

<参加のおすすめ>  
効果の大きな予防安全技術を導入するためには、事故を予防する効果を事前評価し、システム選定をする必要がある。このような効果の評価には、自動車だけでなく、ドライバ、他の交通や歩行者を含めた道路・環境のモデル化も必要である。シミュレーションを構成する交通環境、歩行者、ドライバの各モデルの開発状況と運転支援技術開発への適用事例を紹介し、最後に今後の方向性や課題について議論を行います。予防安全技術やシミュレーションに関わる幅広い技術者の参加をお勧めします。  
アクティブセイフティ部門委員会委員長 古川 修

(アクティブセイフティ部門委員会)



委員長 古川 修 幹事 末富隆雅 幹事 及川浩隆 幹事 毛利 宏 幹事 吉田 秀久

\* 本会技術者育成委員会では技術者教育の要素を持ったシンポジウムを技術レベルにより3コースの技術者育成講座として認定しております。Standard Course = 基礎レベル, Intensive Course = 中級レベル, Professional Course = 上級レベル

- プログラム：  
9:40 開会挨拶 アクティブセイフティ部門委員会幹事  
マツダ(株) 末富隆雅氏  
司 会：吉田秀久氏(防衛大学校)  
9:45 予防安全評価と交通シミュレーション技術  
トヨタ自動車(株) 阿賀正己氏  
10:35 予防安全支援システム効果評価シミュレータ  
(ASSESS)のための交通流生成モデルの開発  
(独)交通安全環境研究所 青木義郎氏  
11:25 予防安全システム評価シミュレータ STREET における歩行者モデル  
(株)豊田中央研究所 森 博子氏  
12:15 昼休み  
司 会：毛利 宏氏(日産自動車(株))  
13:20 ユニバーサルドライバモデルを用いた交通シミュレータの開発  
芝浦工業大学 古川 修氏  
14:10 交通流シミュレータとドライビングシミュレータの融合によるマルチスケール・マルチファクター評価  
東京大学 鈴木高宏氏  
15:00 US 事故データを用いた効果推定シミュレーションと衝突軽減ブレーキへの適用事例  
(株)本田技術研究所 杉本洋一氏  
15:50 休憩  
16:00 パネルディスカッション  
コーディネータ：末富隆雅氏(マツダ(株))  
パネリスト：講演者全員  
17:00 閉会挨拶 アクティブセイフティ部門委員会委員長  
芝浦工業大学 古川 修氏

\* プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。